

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

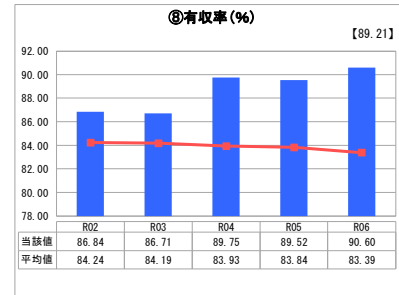
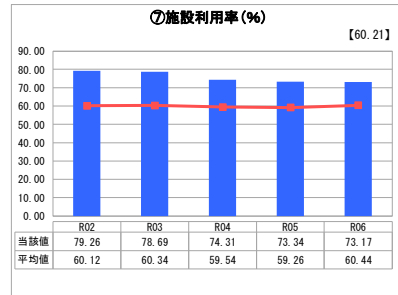
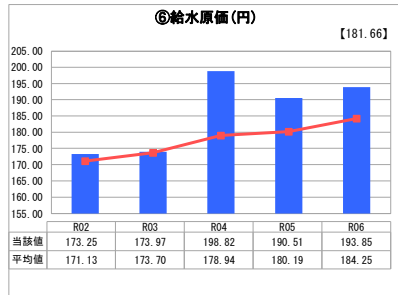
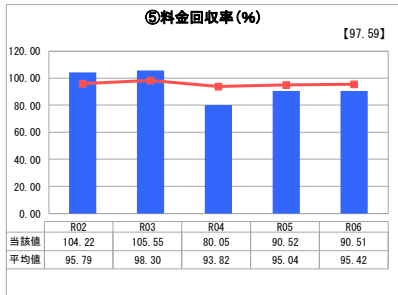
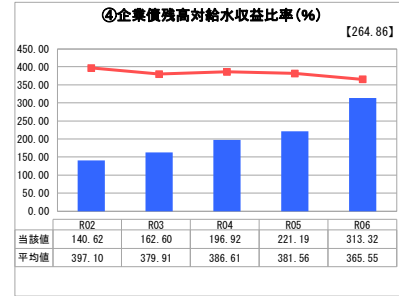
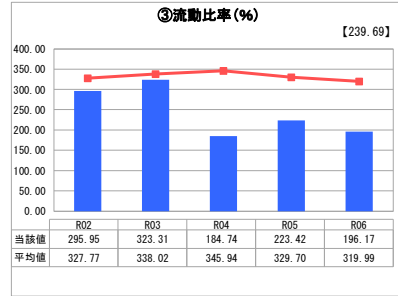
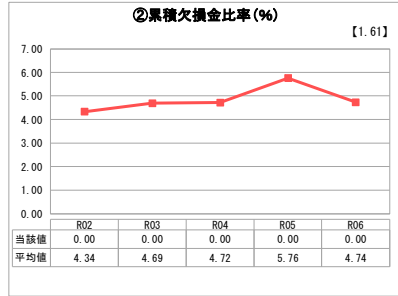
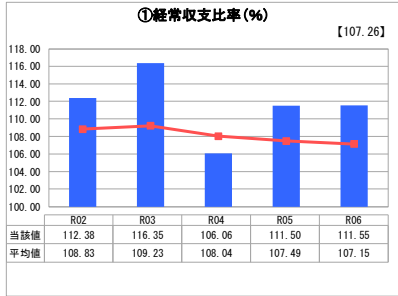
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	67.21	99.98	3,003	

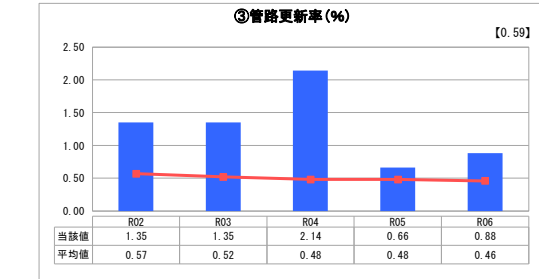
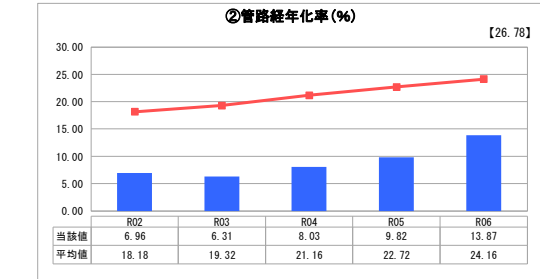
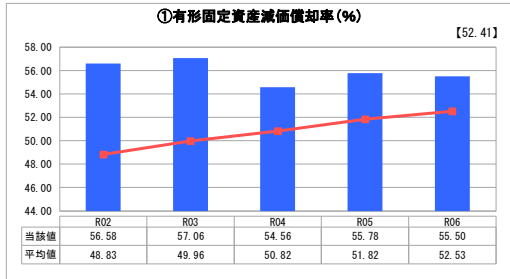
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,471	15.95	2,098.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,337	15.95	2,090.09

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
類似団体や全国平均を上回っており、前年度と比較し微増となっている。これは、給水収益や分担収入が増加したものである。黒字を示す100%以上となっているが、今後は施設等の更新に伴う企業債の借入れにより支払利息や減価償却費などの費用の増加や、給水収益や分担収入の減少等が見込まれるため、経営改善に向けた検討が必要となる。

② 累積欠損比率  
累積欠損比率は0%となっており累積欠損金は発生していない。

③ 流動比率  
類似団体や全国平均を下回っているが、100%を上回っており短期債務に対しての支払能力は確保されている。短期的な支払能力の問題はない。今後は給水収益の減少や企業債の借入れによる償還金の増加や、施設の更新などに自己資金を投入することにより低下が予想される。

④ 企業債残高対給水収益比率  
類似団体よりは下回っているが、前年度と比較し13.13ポイント増加している。令和2年度から企業債の借入れを行っており、比率は増加傾向となっている。今後は内部留保資金の活用や投資規模などの適切性を確認していく必要がある。

⑤ 料金回収率  
類似団体や全国平均を下回っている。料金回収率が100%を下回っているが、これは前年度に引き続き物価高騰対策による水道基本料金の免除を行ったことが影響している。

⑥ 給水原価  
類似団体や全国平均を上回っている。今後も物価高騰による維持管理費の増加や水需要の減少を踏まえて、投資の効率化や維持管理費の削減などの経営改善の検討が必要となる。

⑦ 施設利用率  
類似団体や全国平均を上回っている状況となっているものの下降傾向となっている。今後は、給水人口の減少や、節水型社会の進行による水需要の減少が見込まれることから、効率的な施設運用に努めるとともに施設のダウンサイジングについても検討する必要がある。

⑧ 有収率  
類似団体や全国平均を上回っており、前年度と比較し1.08ポイント増加している。引き続き漏水調査や老朽管路の更新など漏水対策に努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
類似団体や全国平均を上回っている。今後も、施設の老朽化が進行していくことが予測されるため、引き続き、計画的な施設等の更新に努めていく必要がある。

② 管路経年率  
年々増加しているが、類似団体や全国平均を下回っている。引き続き、計画的な管路の更新に努めていく必要がある。

③ 管路更新率  
令和4年度は、和戸横町地区の民間開発により、類似団体や全国平均を大きく上回る結果となっていた。令和6年度については類似団体や全国平均より上回っている。有形固定資産減価償却率や管路経年率などを踏まえ、計画的な管路の更新に努めていく必要がある。

## 全体総括

経営の健全性・効率性、老朽化の状況についての指標が示すとおり令和6年度は、概ね良好な状態である。今後も人口減少による給水収益の減少や物価高騰による維持管理費等の増加が見込まれることから、計画的な施設等の更新や資金の確保など検討し引き続き健全で計画的な水道事業の運営に努めていく。